



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 平河ヒューテック株式会社

コード番号 5821 URL <http://www.hewtech.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 隅田和夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 目黒裕次

四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日

TEL 03-5493-1711

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

平成23年12月1日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	8,616	19.3	369	△3.1	351	△3.7	485	122.1
23年3月期第2四半期	7,225	29.1	381	—	365	2,694.3	218	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 389百万円 (6,174.5%) 23年3月期第2四半期 6百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	68.63	67.94
23年3月期第2四半期	31.15	30.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	23,819	14,103	59.2
23年3月期	19,617	13,785	70.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 14,091百万円 23年3月期 13,772百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	12.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,400	30.2	1,120	40.2	1,090	46.4	870	143.3	123.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 3社 (社名) 四国電線株式会社、四国電線(香港)有限公司、四国電線(東莞)有限公司、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P. 2「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	8,712,900 株	23年3月期	8,712,900 株
24年3月期2Q	1,639,821 株	23年3月期	1,639,775 株
24年3月期2Q	7,073,113 株	23年3月期2Q	7,016,226 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により急速に悪化しましたが、サプライチェーンの立て直しにより徐々に持ち直してきております。しかしながら、電力不足や長引く円高により、足下においてそのテンポが緩やかになるなど先行きに対する不透明感が増す状況となりました。

アジア経済については、中国を中心に回復テンポは緩やかになってきたものの、拡大基調が続いております。また、欧米経済は個人消費の減少や失業率の高止まり及び財政・金融問題が深刻化するなど、持ち直しのテンポは緩やかなものになりました。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス業界におきましても、データトラフィックの飛躍的な増大による、高速、大容量伝送関連市場の需要は、引き続き拡大基調で推移致しましたが、東日本大震災によるサプライチェーンの混乱などの影響により、自動車関連や民生機器の需要が減少するなど、全体としては低調に推移致しました。

このような環境の下、当第2四半期連結累計期間の業績は、四国電線株式会社を子会社化したこと等により、売上高は86億16百万円（前年同期比19.3%増）、営業利益3億69百万円（同3.1%減）、経常利益3億51百万円（同3.7%減）、四半期純利益4億85百万円（同122.1%増）となりました。

主なセグメント別の業績は、次のとおりです。

（電線・加工品）

東日本大震災の影響により車載用ケーブル等の売上は減少となりましたが、半導体製造関連ケーブル等の売上が堅調に推移したことや四国電線株式会社を子会社化したことにより、売上高は67億33百万円（前年同期比20.2%増）となりました。新製品生産のための設備投資を増やしたことに伴い減価償却費等が増え、営業利益は4億83百万円（同2.2%減）となりました。

（電子・医療部品）

ネットワーク機器、医療用特殊チューブとも売上が増加し、売上高は19億32百万円（前年同期比14.4%増）となりました。売上高の増加により営業利益は3億33百万円（同11.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ42億2百万円増加し、238億19百万円となりました。主な増加は、四国電線株式会社を子会社化したことにより「流動資産」が13億31百万円増加、買い換え資産（平成23年4月27日に東京都大田区大森西4丁目の土地を売却、平成23年6月30日に東京都千代田区外神田4丁目の土地・建物を購入）の取得もあり、「有形固定資産」が27億44百万円増加しました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ38億83百万円増加し、97億16百万円となりました。主な増加は、四国電線株式会社を子会社化したことにより「流動負債」が16億46百万円増加、「固定負債」が22億37百万円増加しました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部は、前連結会計年度末に比べ3億18百万円増加し、141億3百万円となりました。主な増加は、「利益剰余金」の増加であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、予想の範囲内で推移しているため、平成24年3月期の通期の業績予想については、平成23年6月21日の「業績予想の修正に関するお知らせ」に公表しました予想値に変更ありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、四国電線株式会社の株式を取得（子会社化）したことにより、四国電線株式会社、四国電線（香港）有限公司及び四国電線（東莞）有限公司が特定子会社となりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,841,997	2,455,834
受取手形及び売掛金	4,703,716	6,241,641
有価証券	733,918	874,893
商品及び製品	926,551	1,274,291
仕掛品	392,959	565,722
原材料及び貯蔵品	1,322,831	1,579,223
繰延税金資産	96,448	185,890
その他	213,218	394,040
貸倒引当金	△1,643	△10,234
流動資産合計	12,229,999	13,561,304
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,862,669	3,516,838
機械装置及び運搬具（純額）	1,356,172	1,822,975
土地	951,447	2,647,169
その他（純額）	379,827	307,212
有形固定資産合計	5,550,117	8,294,196
無形固定資産	84,515	89,753
投資その他の資産	1,752,827	1,874,731
固定資産合計	7,387,460	10,258,682
資産合計	19,617,459	23,819,986
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,711,237	2,257,642
短期借入金	373,581	1,271,921
未払法人税等	98,984	244,799
繰延税金負債	375	530
賞与引当金	—	174,869
その他	935,454	816,169
流動負債合計	3,119,633	4,765,933
固定負債		
長期借入金	1,057,148	2,049,025
退職給付引当金	1,418,120	1,564,473
役員退職慰労引当金	211,676	30,817
長期未払金	14,704	926,966
長期預り金	11,017	379,012
固定負債合計	2,712,666	4,950,295
負債合計	5,832,299	9,716,228

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30 日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,544,465	1,544,465
資本剰余金	1,448,609	1,448,609
利益剰余金	14,032,771	14,446,979
自己株式	△2,243,509	△2,243,543
株主資本合計	14,782,337	15,196,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△620	△60,886
繰延ヘッジ損益	3,311	—
為替換算調整勘定	△1,012,142	△1,044,110
その他の包括利益累計額合計	△1,009,451	△1,104,996
少数株主持分	12,273	12,242
純資産合計	13,785,160	14,103,757
負債純資産合計	19,617,459	23,819,986

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	7,225,144	8,616,396
売上原価	5,699,518	6,884,373
売上総利益	1,525,625	1,732,023
販売費及び一般管理費	1,144,243	1,362,509
営業利益	381,382	369,514
営業外収益		
受取利息	9,055	9,521
受取配当金	5,286	7,502
負ののれん償却額	10,997	—
その他	18,315	20,319
営業外収益合計	43,655	37,344
営業外費用		
支払利息	9,142	9,620
為替差損	44,264	37,914
その他	6,030	7,338
営業外費用合計	59,437	54,873
経常利益	365,599	351,985
特別利益		
負ののれん発生益	—	378,577
投資有価証券売却益	—	18,700
固定資産売却益	—	1,224,056
貸倒引当金戻入額	35	—
役員退職慰労引当金戻入額	504	—
受取保険金	6,609	1,851
特別利益合計	7,150	1,623,185
特別損失		
投資有価証券評価損	25,782	—
災害による損失	—	249,042
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,800	—
役員退職慰労金	—	695,829
特別損失合計	34,582	944,872
税金等調整前四半期純利益	338,167	1,030,299
法人税、住民税及び事業税	183,996	179,335
法人税等調整額	△63,618	365,694
法人税等合計	120,378	545,029
少数株主損益調整前四半期純利益	217,789	485,269
少数株主損失 (△)	△785	△164
四半期純利益	218,575	485,433

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	217,789	485,269
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△54,271	△60,265
繰延ヘッジ損益	△6,126	△3,311
為替換算調整勘定	△151,178	△31,835
その他の包括利益合計	△211,576	△95,412
四半期包括利益	6,213	389,856
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,456	389,888
少数株主に係る四半期包括利益	△1,243	△31

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

- I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電線・加工 品	電子・医療 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,496,946	1,689,116	7,186,062	39,081	7,225,144	—	7,225,144
セグメント間の内部 売上高又は振替高	105,226	400	105,627	—	105,627	△105,627	—
計	5,602,172	1,689,516	7,291,689	39,081	7,330,771	△105,627	7,225,144
セグメント利益	494,100	298,486	792,587	19,148	811,735	△430,353	381,382

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、転売品及び不動産事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△4億30百万円には、セグメント間取引消去△1億5百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3億24百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）
1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電線・加工 品	電子・医療 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,634,611	1,930,336	8,564,947	51,449	8,616,396	—	8,616,396
セグメント間の内部 売上高又は振替高	98,968	2,621	101,589	—	101,589	△101,589	—
計	6,733,579	1,932,957	8,666,537	51,449	8,717,986	△101,589	8,616,396
セグメント利益	483,084	333,024	816,108	24,711	840,819	△471,305	369,514

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、転売品及び不動産事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△4億71百万円には、セグメント間取引消去△1億1百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△3億69百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、四国電線株式会社の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「電線・加工品」セグメントにおいて43億75百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(重要な負ののれん発生益)

「電線・加工品」セグメントにおいて、平成23年7月15日付で四国電線株式会社の株式を取得しました。これにより、負ののれん3億78百万円が発生し、当第2四半期連結累計期間において特別利益(負ののれん発生益)に計上しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

（適格退職年金制度から確定拠出年金制度等への移行について）

当社は、退職金制度として、適格退職年金制度及び退職一時金制度を採用しておりましたが、適格退職年金制度を終了し、平成23年10月1日より確定拠出年金制度及び退職一時金制度へ移行しております。

これにより、当社の第3四半期連結累計期間の損益に与える影響額は、特別利益として34百万円の見込みであります。

（タイで発生した豪雨による洪水被害について）

洪水により、タイ王国アユタヤ県のサハラタナナコン工業団地に所在するHEWTECH（THAILAND）CO.，LTD. が被災しました。洪水により、設備の一部が浸水するなどの被害を受けておりますが、幸いにも人的被害はございませんでした。

被害状況につきましては現在調査中ではありますが、生産規模は小さく、被災直後より他拠点において代替生産を開始しているため、影響は軽微となる見込みです。